

「こども110番の家」 ってどんな家？



「こども110番の家」は、不審者から逃れるために
駆け込んできた子どもたちの安全を確保する場所です。

児童の皆さん、危険を感じたときは「こども110番の家」の旗、ステッカーを見て助けを求めましょう

じ どう みな

児童の皆さんへ

ぼん いえ

こんなときは「こども110番の家」へ

たとえば

- 下校時に変な人につけられた
 - 知らない人から自動車に乗るよう声をかけられた
 - チカンにあった
 - 知らない人に体をさわられた
 - 本人や友達が交通事故にあった
- などです



「こども110番の家」の方へ

子どもが助けを求めてきたら？

- 何があったかを尋ねてください。
子どもを待たせて、「110番」後、
家族や学校に連絡してください

- 通報の要点は、110番をかけている場所
(○町○番○号、近くの目標)、事件事故の
概要、電話している人の名前、電話番号を
話してください

子どもを保護して、何が起こったのか
尋ねてください。

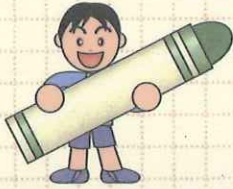
警察及び家庭、学校に電話を
してください。



子どもに対する誘拐・いたずらが増えています。
家庭や地域のみなさんで子どもを守りましょう。

家庭で

通学路の「こども110番の家」を子どもと一緒に確認しておきましょう
次の“6つのやくそく”を普段からよく言い聞かせておきましょう



6つのやくそく

① 学校への行き帰りはお友達といっしょに行きましょう

② 遊びに行くときは、家の人に必ず行き先と帰る時間、
だれと遊ぶかを言って出かけます

③ 外では一人で遊びません

④ さびしいところやあぶないところでは遊びません

⑤ 知らない人について行きません

⑥ 家に帰る時間を守ります



※ もし自分やお友達が連れて行かれそうになったら

大声を
出します

近くの大人に
知らせます

「こども110番の家」へ
にげこみます